

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している ・産業廃棄物はマニフェストにより適正に処理している			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1							
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している ・エネルギー使用量を算出しており、LEDを使用し、会社節電に取り組んでいる ・クールビズ取組のために、空調服を支給、ウォームビズ取組のために防寒着を支給している							7.3						13									
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・エコアクション21を取得している ・事業活動温暖化対策計画書制度に基づく計画書を提出している ・燃料や、電力・ガスの使用量を把握・記録している ・昼休みは使わない電灯は消灯するなど節電に取り組んでいる ・エコアイドルを実施している			2.4										12.4	13	14	15						
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・工事を行う際には生態系に及ぼす影響についてリスクを把握したうえで必要な対策を講じている ・マイバッグ、マイボトルを持参する						6.6									14	15						
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・ペーパーレスを推進している ・事業活動や従業員の行動において、プラスチックやレジ袋などの使用削減に取り組むよう社員教育を徹底している										9.4				12.2 12.4 12.5	14.1	15						
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・汚水の適切な処理に取り組んでいる ・節水に取り組んでいる			2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.5							11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・紙の購入量の削減に取り組んでいる ・グリーン購入率の向上に向け、可能な限り取り組んでいる										9.4				12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・社員に規格外の農林水産品や、廃棄直前の商品を購入するよう呼び掛けている	1	2				6.4									12.3		14	15		17		
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・地域の緑化活動、ボランティアに参加している															11.6 11.7		13.1 13.3	15		17		
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4					11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●		・現場で出た廃材を、取引先業者が指定管理をしている美里町のキャンプ場にて薪として再利用している						6					9.4				11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6									11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		・不知火海沿岸の清掃ボランティアに積極的に参加している																	12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		・エコ通勤環境配慮計画書に基づき、エコドライブの推進に取り組んでいる											9.4					11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●		・算定ツールなどを利用して、温室効果ガス排出量を把握し、削減の計画をしている ・日頃より、アイドリングストップ、車両・重機の適正整備を行っている									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4					11.6 11.a	12.8	13			17.2	

